

交流、共同学習の記録

1. 学校名, 授業者名
 ・ 自 校 横手市立栄小学校 藤田浩司
 ・ 相手校 大仙市立東大曲小学校 武藤 睦, 由利本荘市立鶴舞小学校 工藤伸子,
 大館市立山田小学校 津谷 徹
2. 学年, 組
 ・ 自校, 相手校 6 年生
3. 交流, 共同学習のねらい
 ・ 自分の地域や県内の他の地域の戦争体験者（花岡事件等）の話を聞いたり, 質問をしたりすることにより, 当時の人々の思いについてより豊かにより深く考えさせたい。
4. 学校外の人に TV 会議システム利用を広げるねらい（必要性）
 ・ 学校外の支援者 栄小・東大曲小・山田小のゲストティーチャー（戦争体験者）
 ・ ねらい 自分の地域では聞くことのできない戦争体験, 特に県北の「花岡事件」について実際にお話をしていただく。
5. 実際
 (1) 教科, 単元名
 ・ 社会科「戦争と人々の暮らし」
 (2) 本時のねらい
 ・ 戦中・戦後を生きた人々のお話を聞き, 当時の社会の様子や人々の暮らし, 思いについて考えることができる。
 (3) 本時の実際

学 習 活 動 11/21,22	接 続	教師や学校外の人々の支援
1. 学習のめあての確認 2. 栄小のゲストティーチャーのお話を聞く。 3. 共同学習校からのゲストティーチャーへの質問を聞く。	多地点 栄小 メイン 多地点	・ 栄小学校のゲストティーチャーによるお話。 「戦争体験（満州での様子, 戦後の様子）」 ※話が終わったところで, 多地点接続に切り替えてもらう。その間に, 交流校では質問事項をまとめる。 ・ 鶴舞小, 山田小, 東大曲小からの質問に, ゲストティーチャーに答えて頂く。 
4. 東大曲小のゲストティーチャーのお話を聞く。 ※以下の展開は同様	東大曲小 メイン	・ 東大曲小学校のゲストティーチャーによるお話。 「戦争の頃の学校の様子について」
1. 学習のめあてを確認する。 2. 山田小のゲストティーチャーのお話を聞く。 ※以下の展開は同様 3. 感想発表をする（代表者）。 4. まとめ・次時への連絡をする。	多地点 山田小 メイン 多地点	 ・ 山田小のゲストティーチャーによるお話。「花岡事件について」 ・ 交流した各校からの, 感想発表（各校 1 名くらい）。 ※それぞれの感想を伝え合うことで, 戦中・戦後の時代背景やその時代に暮らした人々の思いについて, 考えを深めさせたい。 →接続終了, 各校毎にまとめをする。

6. 実践を通しての提言
 ・ 今回の共同学習では, 自分たちの地区では聞くことのできない「花岡事件」について, 直に話をうかがうことができた。子どもたちも, 教科書からは学ぶことのできない事実に接し, 戦争について深く考えるよい機会になったと思う。「その地区の方だからこそできる話」を提供してもらう場として, インターネット TV が有効であることを再確認できた。

また3校のゲストティーチャーのお話をそれぞれ1番組と考え、それぞれの番組に参加するか否かは、各学級の学習状況にあわせて選べるようにしてみた。結果的には4校すべて全番組に参加したのだが、自校が必要とする部分にだけ参加するという考え方も、インターネットTVの有効な活用の仕方として提言したい。